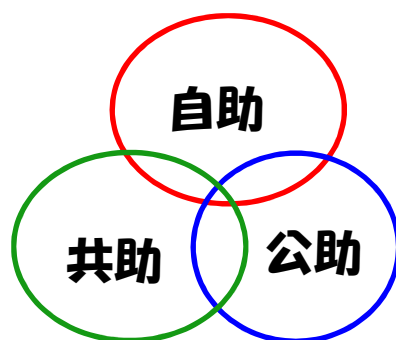


# 安城市校区別地震防災カルテ

## 学区：桜林小学校区



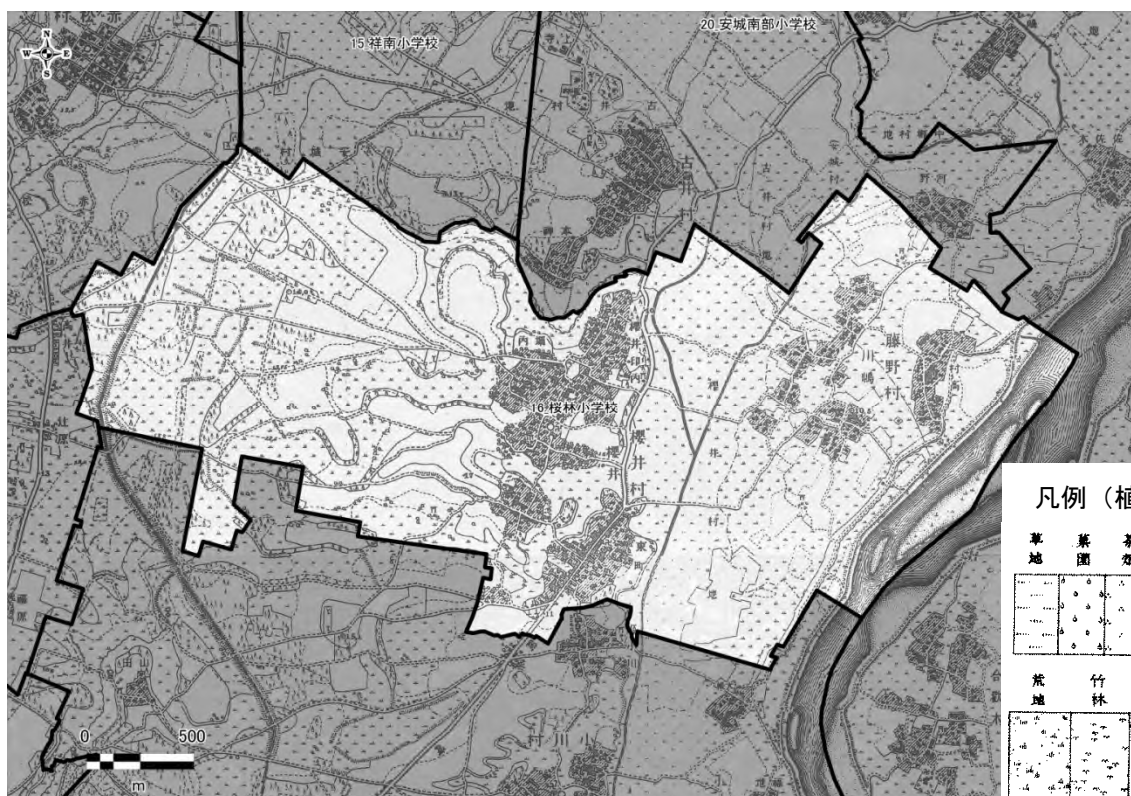
自分たちが住んでいる地区の状況や被害想定、防災施設を把握し、地震に強いまちづくりを進めていきましょう。

安城市

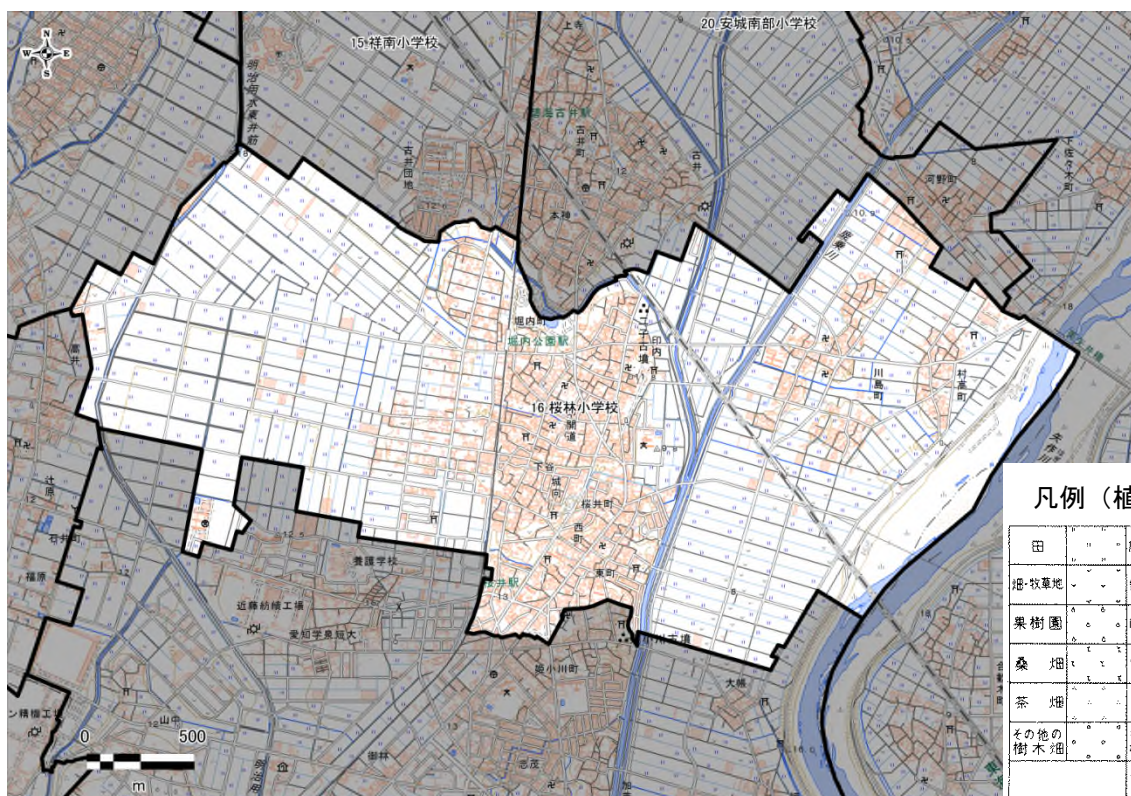
## 目 次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 桜林小学校区のむかしと今 .....           | 1  |
| 1. 校区の位置図 .....              | 2  |
| 2. 校区の構成 .....               | 2  |
| 3. 校区の概要 .....               | 2  |
| 4. 被害予測の結果（過去地震最大モデル） .....  | 4  |
| 5. 被害予測の結果（理論上最大想定モデル） ..... | 6  |
| 6. 防災関連施設 .....              | 8  |
| 7. 避難所等一覧 .....              | 8  |
| 8. 防災上の課題 .....              | 9  |
| 9. 防災関連施設分布図 .....           | 10 |

# 桜林小学校区のおかしと今



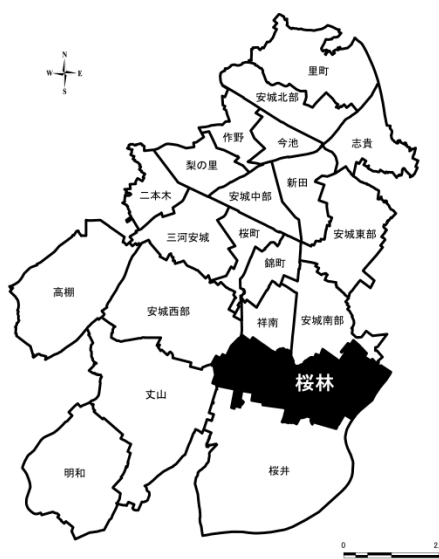
おかし（1890年（明治23年）ごろ）の校区付近の地形



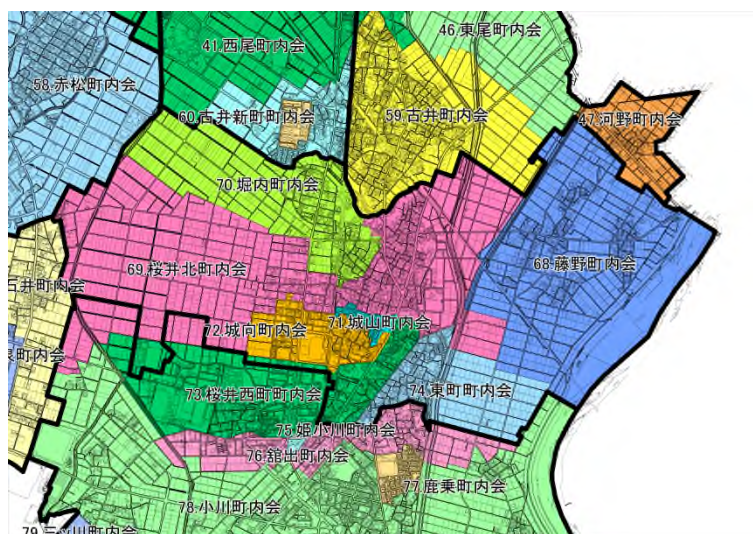
今の校区付近の地形



## 1. 校区の位置図



校区面積約 6.57km<sup>2</sup>  
(安城市全体の 7.6%)



町内会区分図

## 2. 校区の構成

堀内町・川島町・村高町・東町・桜井町〔雨池・阿原・入越上・印内北分・印内南分・太田・大役田・小原藪・貝戸尻・上小縄手・干地・北阿原下・北新田・蟻路・グテ・小縄手・小社・桜林・寒池・三度山・下谷・城阿原・城向・新左・雑用山・高見・立園・茶木原・茶屋坊・土取・塔元・中開道・中新田・中狭間・西徳・西天上・西町上・西町下・西町中・東天上・東徳・古井堤・平右エ門山・坊主山・宮下・宮西・森田・門原・薬師田・山ノ寺・蓮台・元山・入越下・大橋・川島境上・川島境下・乞釜・二夕子〕

### 3. 校区の概要

【位置】桜林小学校区は、市の南東部に位置している。

校区の東部が岡崎市との市境となっている。

【土地】校区東部には鹿乗川や、分流した西鹿乗川や堀内川が流れている。

標高は比較的高く平地が広がっている。

【交通】校区の中心部を県道岡崎西尾線（44 号線）が通っており、県道安城桜井線（286 号線）、県道桜井岡崎線（293 号線）と交差している。

JR 東海道本線と名鉄西尾線の線路が縦断しており、校区の北側には名鉄西尾線の堀内公園駅がある。

【土地利用】 校区の中心部に住宅や商業施設が集まっている。

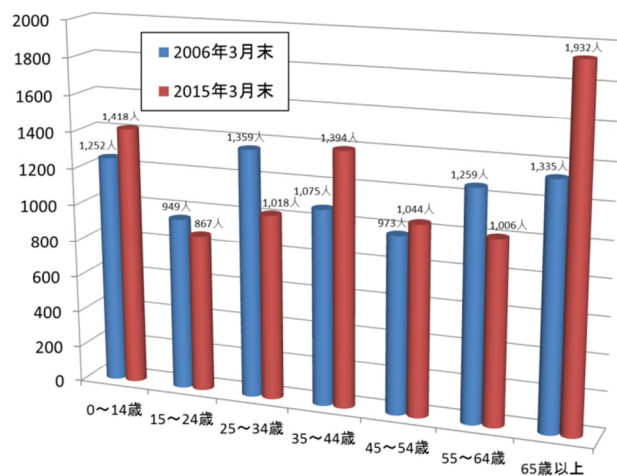
その他は田畑が広がっている。

【その他】 町内会は、桜井北町内会、堀内町内会、城山町内会、城向町内会、桜井西町町内会、東町町内会、藤野町内会

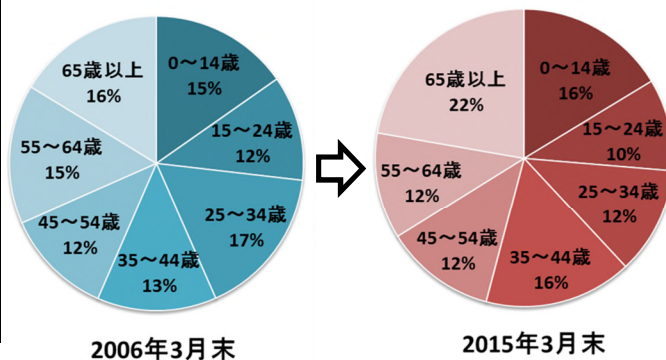
## 【人口等】(2006年3月末時と2015年3月末時の比較)

人口は増加している。ただし、65歳以上の高齢人口比率も増えている。

| 2006年3月末 | 人口                                                  | 校区内での比率 |
|----------|-----------------------------------------------------|---------|
| 0～14歳    | 1,252人                                              | 15%     |
| 15～24歳   | 949人                                                | 12%     |
| 25～34歳   | 1,359人                                              | 17%     |
| 35～44歳   | 1,075人                                              | 13%     |
| 45～54歳   | 973人                                                | 12%     |
| 55～64歳   | 1,259人                                              | 15%     |
| 65歳以上    | 1,335人                                              | 16%     |
| 人口(合計)   | 8,202人                                              | 100%    |
| 人口密度     | 1,248人/km <sup>2</sup> (全市 2,013人/km <sup>2</sup> ) |         |
| 世帯数      | 2,583世帯 (対全市 4.3%)                                  |         |

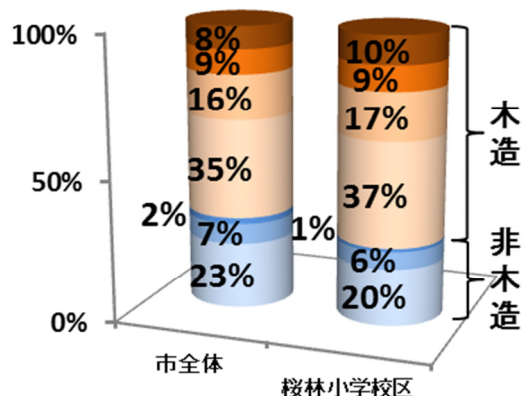


| 2015年3月末 | 人口                                                  | 校区内での比率 |
|----------|-----------------------------------------------------|---------|
| 0～14歳    | 1,418人                                              | 16%     |
| 15～24歳   | 867人                                                | 10%     |
| 25～34歳   | 1,018人                                              | 12%     |
| 35～44歳   | 1,394人                                              | 16%     |
| 45～54歳   | 1,044人                                              | 12%     |
| 55～64歳   | 1,006人                                              | 12%     |
| 65歳以上    | 1,932人                                              | 22%     |
| 人口(合計)   | 8,679人                                              | 100%    |
| 人口密度     | 1,321人/km <sup>2</sup> (全市 2,151人/km <sup>2</sup> ) |         |
| 世帯数      | 2,965世帯 (対全市 4.3%)                                  |         |



## 【建物棟数】(2011年12月)

|                                  | 建物棟数(2011年12月) | 校区内での比率                               |
|----------------------------------|----------------|---------------------------------------|
| 木造                               | 昭和36年以前        | 347棟                                  |
|                                  | 昭和37～46年       | 309棟                                  |
|                                  | 昭和47～56年       | 592棟                                  |
|                                  | 昭和57年以後        | 1,271棟                                |
| 非木造                              | 昭和46年以前        | 40棟                                   |
|                                  | 昭和47～56年       | 218棟                                  |
|                                  | 昭和57年以後        | 712棟                                  |
| 建物棟数(合計)                         |                | 3,489棟                                |
| 1km <sup>2</sup> 当たりの建物棟数(校区／全市) |                | 校区: 531 / 全市: 699(棟/km <sup>2</sup> ) |





#### 4. 被害予測の結果(過去地震最大モデル)

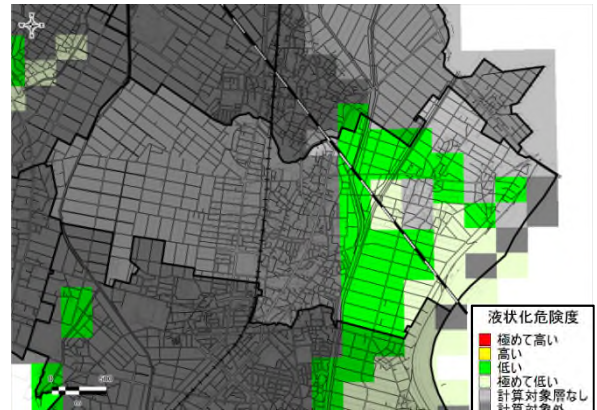
過去地震最大モデルとは：

- ・南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで大きいもの(1707年「宝永地震」(M8.6)、1854年「安政東海地震」(M8.4)、1854年「安政南海地震」(M8.4)、1944年「昭和東南海地震」(M7.9)、1946年「昭和南海地震」(M8.0))を重ね合わせたモデル。
- ・本市の地震対策を検討する上で重要な想定とした。

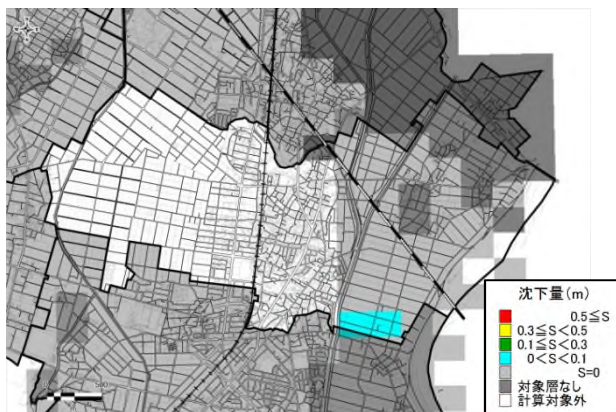
① 想定される地震動の強さ (250m メッシュ)



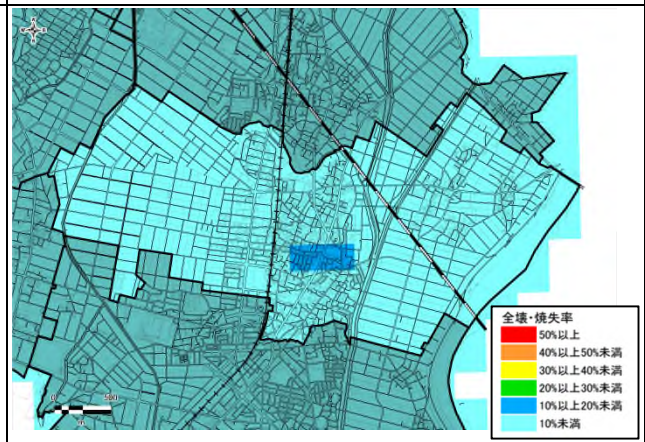
② 液状化の危険性 (250m メッシュ)



③ 地盤沈下量 (250m メッシュ)



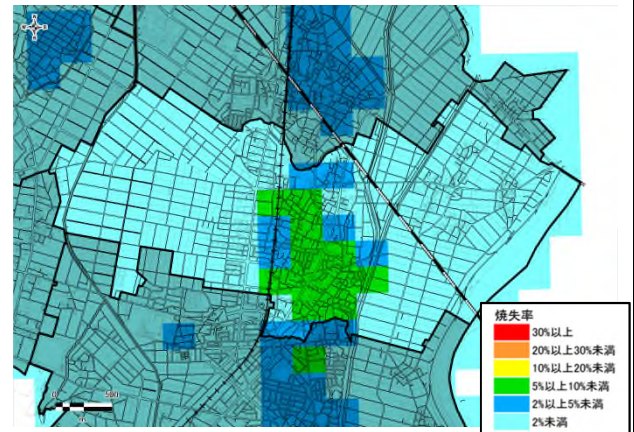
④ 全壊焼失率 (250m メッシュ)



⑤ 揺れ全壊率 (250m メッシュ)



⑥ 焼失率 (250m メッシュ)



#### 4. 被害予測の結果(過去地震最大モデル)

桜林小学校区は、震度 6 弱から一部震度 6 強の揺れが想定されている。深度 6 弱は立っていることが困難になるほどの揺れであり、深度 6 強になると、はわないと動くことができないほどの非常に強い揺れである。建物の耐震補強と家具の固定を進めることが大変重要である。液状化に関しては、矢作川沿川の低平地において液状化の危険性が想定されている。火災で焼失する建物数が多いことが想定されており、避難時にはブレーカーを落とす等の措置をとることが大切である

##### <建物・人的被害の予測>

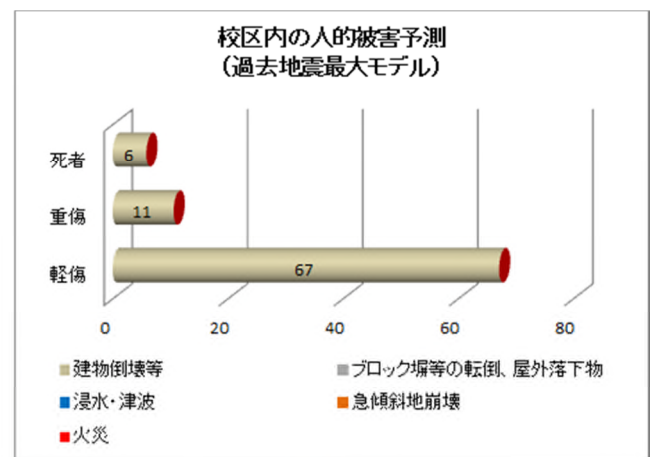
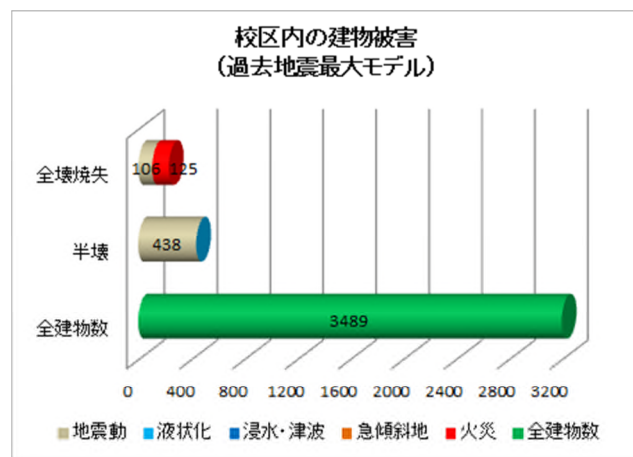
単位: (棟)

| 建物被害【冬・夕方発災】              |            |             |
|---------------------------|------------|-------------|
| ※()内は、校区の建物棟数3,489棟に対する割合 |            |             |
|                           | 全壊・焼失      | 半壊          |
| 地震動                       | 106        | 438         |
| 液状化                       | *          | *           |
| 浸水・津波                     | 0          | 0           |
| 急傾斜地                      | 0          | 0           |
| 火災                        | 125        | —           |
| 建物被害総数                    | 231 (6.6%) | 438 (12.6%) |

単位: (人)

| 人的被害【冬・深夜発災】              |           |            |            |
|---------------------------|-----------|------------|------------|
| ※()内は、校区の深夜人口8,381人に対する割合 |           |            |            |
|                           | 死者数       | 重傷者数       | 軽傷者数       |
| 建物倒壊等                     | 6         | 11         | 67         |
| (うち屋内転倒物・<br>屋内落下物)       | *         | (3)        | (10)       |
| ブロック塀等の転倒、<br>屋外落下物       | *         | *          | *          |
| 浸水・津波                     | 0         | 0          | 0          |
| 急傾斜地崩壊                    | 0         | 0          | 0          |
| 火災                        | *         | *          | *          |
| 被害者数合計                    | 6 (0.07%) | 11 (0.13%) | 67 (0.80%) |

\*: わずか



※四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります

##### <ライフライン被害の予測>

| ライフライン   | 被害                         | 95%復旧するのに    |
|----------|----------------------------|--------------|
| 上水道      | 被災直後、約9割が断水                | 約6週間         |
| 下水道      | 被災1日後、約7割が利用困難             | 約3週間         |
| 電力       | 被災直後、約9割が停電                | 約1週間         |
| 通信【固定電話】 | 被災直後、約9割が通話支障              | 約1週間         |
| 通信【携帯電話】 | 被災1日後、基地局の電波が停止する確率が、最大約8割 | 約1週間(基地局の復旧) |
| 都市ガス     | 被災直後、0.3割が供給停止             | 約2週間         |
| LPガス     | 被災直後、約1割が機能支障              | 約1週間         |

##### <避難者数の予測>

|        | 1日後   |       |       | 1週間後   |        |        | 1ヶ月後  |       |       |
|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
|        | 避難者数  | 避難所   | 避難所外  | 避難者数   | 避難所    | 避難所外   | 避難者数  | 避難所   | 避難所外  |
| 桜林小学校区 | 720   | 432   | 288   | 1,548  | 774    | 774    | 720   | 216   | 504   |
| 市計     | 8,271 | 4,976 | 3,295 | 26,649 | 13,359 | 13,289 | 8,142 | 2,442 | 5,699 |

※四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります



## 5. 被害予測の結果(理論上最大想定モデル)

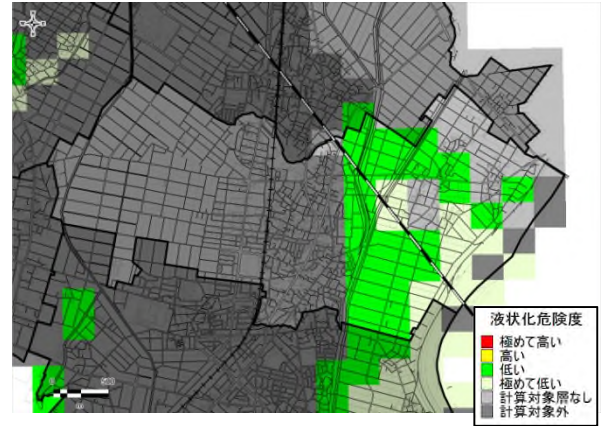
理論上最大想定モデルとは：

- ・南海トラフで発生する恐れのある地震・津波のうち、千年に一度、あるいはそれよりもっと発生頻度が低い地震。発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震。
- ・「命を守る」という観点で想定外をなくすことを念頭に地震対策を講じることが不可欠であることから、あらゆる可能性を考慮して想定した最大クラスの地震・津波モデルとして設定。

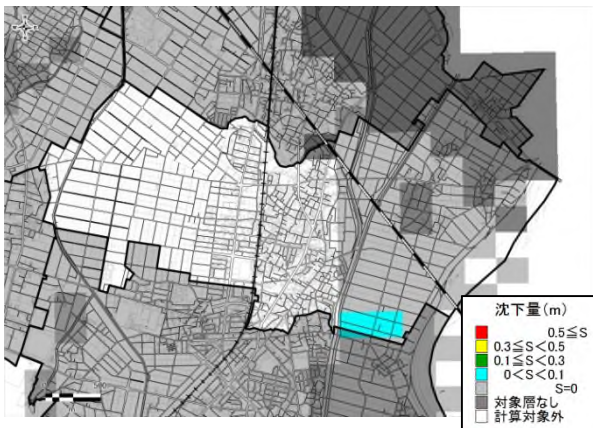
① 想定される地震動の強さ (250m メッシュ)



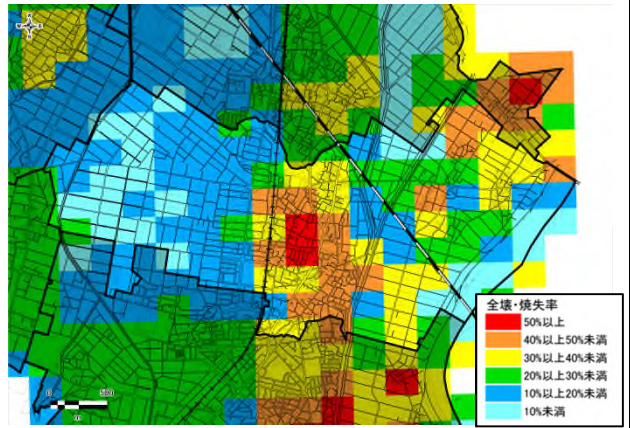
② 液状化の危険性 (250m メッシュ)



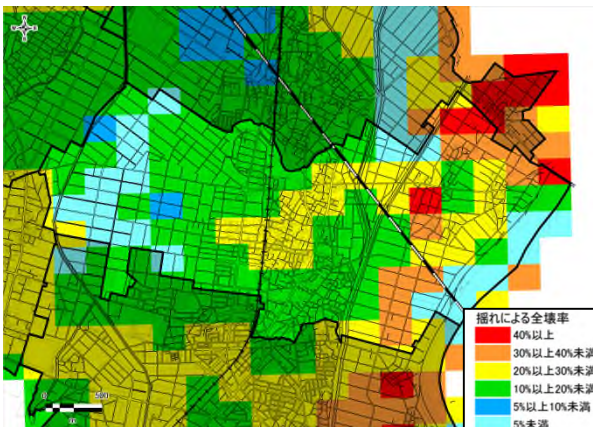
③ 地盤沈下量 (250m メッシュ)



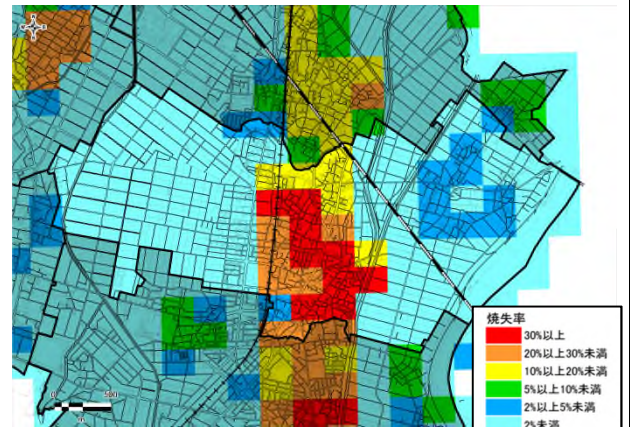
④ 全壊焼失率 (250m メッシュ)



⑤ 揺れ全壊率 (250m メッシュ)



⑥ 焼失率 (250m メッシュ)





## 5. 被害予測の結果(理論上最大想定モデル)

桜林小学校区は、震度 6 強から一部震度 7 の揺れが想定されている。はわないと動くことができないほどの非常に強い揺れであり、建物の耐震補強と家具の固定を進めることが大変重要である。

液状化に関しては、矢作川沿川の低平地において液状化の危険性が想定されている。

火災によって焼失する建物が非常に多く、亡くなる方も発生することが予測されている。このため、避難する際にはブレーカを落とす等の措置をし、出火を減らすことが大切である。

### <建物・人的被害の予測>

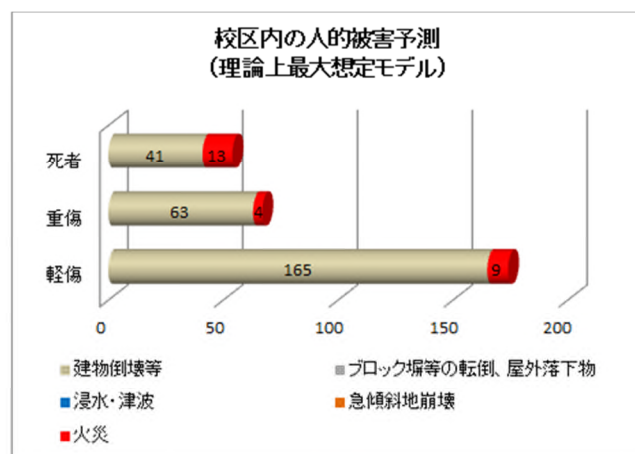
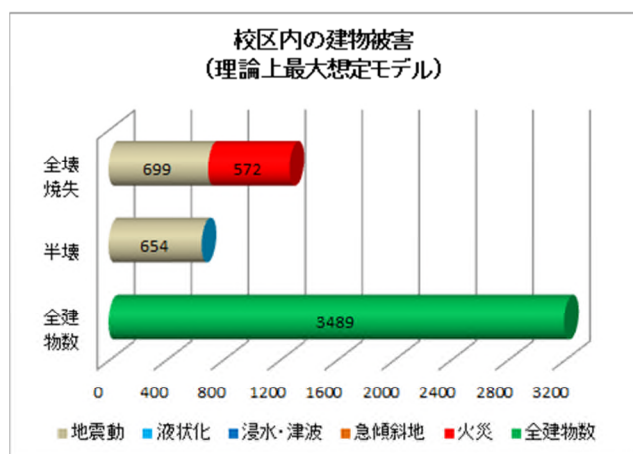
単位:(棟)

| 建物被害【冬・夕方発災】              |               |             |
|---------------------------|---------------|-------------|
| ※()内は、校区の建物棟数3,489棟に対する割合 |               |             |
|                           | 全壊・焼失         | 半壊          |
| 地震動                       | 699           | 654         |
| 液状化                       | *             | *           |
| 浸水・津波                     | 0             | 0           |
| 急傾斜地                      | 0             | 0           |
| 火災                        | 572           | —           |
| 建物被害総数                    | 1,272 (36.5%) | 654 (18.7%) |

単位:(人)

| 人的被害【冬・深夜発災】              |            |            |             |
|---------------------------|------------|------------|-------------|
| ※()内は、校区の深夜人口8,381人に対する割合 |            |            |             |
|                           | 死者数        | 重傷者数       | 軽傷者数        |
| 建物倒壊等                     | 41         | 63         | 165         |
| (うち屋内転倒物・<br>屋内落下物)       | (3)        | (13)       | (46)        |
| ブロック塀等の転倒、<br>屋外落下物       | *          | *          | *           |
| 浸水・津波                     | 0          | 0          | 0           |
| 急傾斜地崩壊                    | 0          | 0          | 0           |
| 火災                        | 13         | 4          | 9           |
| 被害者数合計                    | 54 (0.64%) | 67 (0.80%) | 174 (2.08%) |

\* : わずか



※四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合があります

## 6. 防災関連施設

| 防災関連施設             | 名称                  |
|--------------------|---------------------|
| 警察署                | 桜井交番                |
| 緊急時ヘリポート可能箇所       | 川島河川敷公園             |
| 消防署                | —                   |
| 消防団                | 桜井分団詰所、桜井北部分団詰所     |
| 拠点病院・救急病院・災害医療救護所※ | —                   |
| 自主防災組織             | 7                   |
| 防災倉庫・防災資材庫         | 桜林小学校、安城南高等学校、桜井公民館 |
| 応急給水施設             | 桜林小学校、安城南高等学校、桜井公民館 |
| 井戸                 | 15                  |
| マンホールトイレ           | —                   |
| 学校                 | 桜林小学校、安城南高等学校       |
| 保育園                | 桜井保育園               |
| 幼稚園                | —                   |
| 公民館・福祉センター         | 桜井公民館               |

※大規模災害時にのみ開設される救護所

## 7. 避難所等一覧

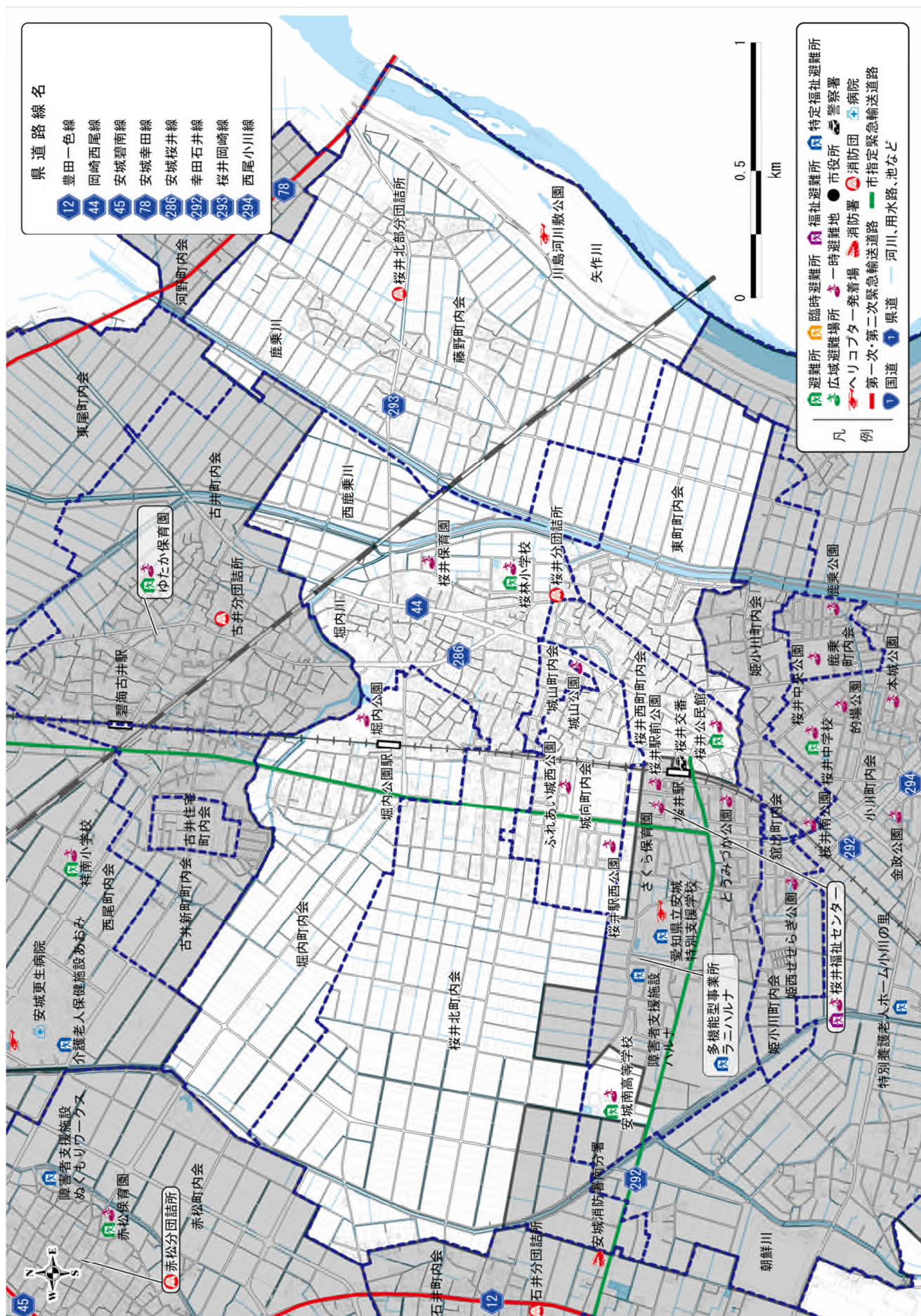
| 避難所   | 区分  | 施設名      | 電話番号    | 所在地         | 収容可能人員[名]           |
|-------|-----|----------|---------|-------------|---------------------|
|       | 避難所 | 桜林小学校    | 99-3777 | 桜井町中狭間 35-1 | 270                 |
|       |     | 安城南高等学校  | 99-2000 | 桜井町門原 1     | 1,090               |
|       |     | 桜井公民館    | 99-3313 | 桜井町大役田 1-1  | 510                 |
| 避難場所等 | 区分  | 名称       |         | 所在地         | 面積[m <sup>2</sup> ] |
|       | 一時  | 堀内公園     |         | 堀内町安下 1-1   | 59,000              |
|       |     | 城山公園     |         | 桜井町城阿原 59   | 4,800               |
|       |     | ふれあい城西公園 |         | 桜井町三度山 68   | 2,000               |
|       |     | 桜井駅西公園   |         | 桜井町貝戸尻 78-2 | 7,500               |
|       |     | 桜林小学校    |         | 桜井町中狭間 35-1 | 7,200               |
|       |     | 安城南高等学校  |         | 桜井町門原 1     | 22,000              |
|       |     | 桜井公民館    |         | 桜井町大役田 1-1  | 1,500               |
|       |     | 桜井保育園    |         | 桜井町宮下 14    | 1,325               |



## 8. 防災上の課題

- ・昭和 56 年以前に建築された木造住宅が多い地区となっており、被害想定では、全壊・焼失、半壊となる建物の割合は、過去地震最大モデルで約 19%、理論上最大想定モデルで約 55%となっている。また、人的被害においても、建物倒壊等による死者数、重傷者数が、過去地震最大モデルで 17 人、理論上最大想定モデルで 104 人となっている。建物被害や人的被害を減少させるためには、昭和 56 年以前に建築された建物の耐震診断や耐震改修により建物の耐震化を進める必要がある。
- ・木造住宅の割合が多く、火災による人的被害では理論上最大想定モデルで死者数、重傷者数が 17 人となる想定が出ている。火災による人的被害を減らすためには、各家庭での消火器の準備や感震ブレーカーの設置などにより火災を拡大させない対策が必要である。

## 9. 防災関連施設分布図







平成28年8月配布  
安城市危機管理課